

第1学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	国語1（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	国語の学習 漢字練習ノート すらすら基本文法

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、単元、技能等） ※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・学校で学んだことを、ワーク・タブレット等を用いて復習し、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、順序を変更することがあります。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	朝のリレー（言語）、野原はうたう（言語）、 声を届ける（言語）、書き留める/言葉を調べる/続けてみよう（言語・書）	・音声の働きや仕組みについて、理解を深める ・音読・発表・ノートの書き方、言葉の調べ方などを理解する。
5	はじまりの風（情・読）、[聞く] 情報を聞き取り 要点を伝える（情・話・聞）、話の構成を工夫 しよう（話・聞）	・心情や行動を表す語句に注意して読む。 ・場面の展開に沿って、登場人物の心情、関係の変化を捉える。 ・目的や場面に応じ、構成を考え、わかりやすく伝えるように工夫 する。
6	ダイコンは大きな根？（読） ちょっと立ち止まって（読） 情報整理のレッスン 比較・分類（情） 情報を整理して説明しよう（情） 空の詩（読・書） 比喩で広がる言葉の世界（読）	・筆者の主張と事例との関係を理解する。 ・段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 ・聞き手に分かりやすくスピーチをする。 ・比較や分類など情報の整理の仕方などを理解し、文の中で読み取 ったり、それらを使って伝えたりする。 ・詩を読み味わい、構成や展開、表現の効果について、根拠を明確 にして考える。
7	読書を楽しむ（読書） 本の中の中学生（読書）	・読書がもつ役割について理解する。
9	大人になれなかった弟たちに……（読） 星の花が降る所に（読） 項目を立てて書こう（書） [推敲] 読み手の立場に立つ（書） 聞き上手になろう（話・聞）	・描写を基に登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・比喩の表現について理解して、描かれている内容を想像する。 ・質問のしかたや書き方の工夫を知る。 ・相手や目的に合わせて情報を選び、整理し、伝える。 ・伝えたい事柄が明確に書き表されているか考える。
10	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（読） 思考のレッスン1 意見と根拠（情） 根拠を明確にして書こう（書）	・筆者の意見と根拠、文章の構成や展開の効果について考える。 ・原因と結果、意見と根拠などの関係について理解する。 ・根拠について考え、説得力のある文章を書く。 ・助言を基にして、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。
11	音読を楽しもう いろは歌（読） 蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から（読） 今に生きる言葉（読）	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通してその世界 に親しんだり、登場人物の関係や思いに着目して読んだりする。 ・漢文を音読し、リズムや言い回しに親しむ。 ・故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考える。
12	「不便」の価値を見つめ直す 思考のレッスン2 原因と結果（情） 話題や展開を捉えて話し合おう（話・聞） 本の世界を広げよう（読書）	・必要な情報を取り出し、結び付けて要約するとともに、それに対 する自分の考えをもつ。 ・意見と根拠などの関係を理解し、話し合う。 ・話題や展開を捉えながら話し合う。
1	少年の日の思い出（読） 二十歳になった日（読）	・語句の意味に注意して読むとともに、場面の展開や表現の効果、 語り手に着目して読み深める。 ・場面の展開や描写を基に、筆者の考えや思いを捉える。
2	構成や描写を工夫して書こう（書）	・書く内容の中心が明確になるように構成や描写を考えて書く。
3	一年間の学びを振り返ろう（話・聞）（書） ぼくがここに（読）	・一年間の学習の中から観点を決め、材料を集めて整理し、自分の 考えを分かりやすく伝える。

※書写は、国語科の授業の中で行います。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。
- ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。